

令和9年度 重点・重要事項 提案・要望書



夏フェスタ美浜2026(R8.7.18 開催)

令和8年8月 福井県美浜町

町政推進にかかる重点・重要事項について

日頃より、本町のまちづくり・行政運営につきまして、格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。本町では『幸せと誇り・夢と希望・地域愛あふれる 美し美浜』の実現を目指し、町民と行政による協働のまちづくりに取り組んでいるところであります。

とりわけ、北陸新幹線敦賀開業が実現し2年余りが経過したわけですが、昨年の観光入込客数は約140万人と増加し、交流人口の拡大によるまちづくりへの手応えを実感するところであります。

今般、第7次エネルギー基本計画を契機に新たな原子力政策がスタートし、原子力の最大限の活用や次世代革新炉のリプレイス、立地地域の実情に即した防災対策・地域振興を進めることなど、原子力政策の方向性が明確に示されたことから、原子力と共生するまちづくりを進める本町にとって、大きな転機であると受け止めています。

本町では、このほか地場産業の振興や健康づくり、子ども子育て支援や人づくり施策などに鋭意取り組んでいますが、依然として少子高齢化・人口減少が進んでいます。また、立地地域における安全安心の確保に向けた、避難道路の多重化・強靱化など、多くの課題に直面しています。

つきましては、こうした本町の行政課題をご賢察いただき、次に掲げる重点・重要事項の解決につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月18日

福井県知事 石田 高人 様

美浜町長 戸嶋 秀樹

令和9年度重点・重要 提案・要望事項一覧

【重点要望】

重点 1	原子力との共生に向けた取り組みについて	
	1 原子力政策について	
	2 原子力防災対策の充実強化について	
	3 地域振興について	
重点 2	持続的な観光の実現に向けて	
	1 三方五湖周遊観光の充実について	
	2 観光おもてなしの環境整備・地域資源の保全について	
	3 「観光おもてなし道路」の整備について	
重点 3	地域交通の充実について	
	1 広域路線バスに係る国、県の支援について	
	2 ゴコイチバスの運行に係る県の支援について	
	3 小浜線のキャッシュレス化について	
重点 4	地域医療の格差是正について	
	1 嶺南医療圏としての機能充実について	
	2 レイクヒルズ美方病院への支援について	
	3 地域医療の充実強化について	
重点 5	国内最高峰のローイング競技拠点化について	
	1 ローイング競技拠点化に向けた施設整備について	
重点 6	史実を活かした地域活性化への支援について	
	1 史実を活かしたまちづくりと地域の伝統文化継承への支援について	
重点 7	みはまシナプスプロジェクトへの支援について	
	1 みはまシナプスプロジェクトへの支援について	
重点 8	集落活性化に係る財政支援について	
	1 集落活性化に係る財政支援について	
重点 9	海岸漂着ごみ対策の支援について	
	1 海岸漂着ごみ対策の支援について	

【重要要望】

重要 1	豪雨・土砂災害対策について	
	1 豪雨・土砂災害対策について	
重要 2	道路の整備について	
	1 道路の整備について	
重要 3	越波対策について	
	1 越波対策について	
重要 4	農業農村整備事業について	
	1 農業農村整備事業について	
重要 5	地域農業の振興に係る支援について	
	1 地域農業の振興に係る支援について	
重要 6	建設発生土の活用について	
	1 北陸新幹線建設事業や舞鶴若狭自動車道 4 車線化事業に係る建設発生土の活用について	
重要 7	畜産振興に向けた総合的な支援について	
	1 嶺南広域の畜産振興に向けた総合的な支援について	
重要 8	第二ふくい園芸カレッジ（仮称）の整備に伴う交流の創出について	
	1 第二ふくい園芸カレッジ（仮称）の整備に伴う交流の創出について	
重要 9	広域連携による持続的な観光プロモーションの強化について	
	1 広域連携による観光プロモーションの強化について	
重要 10	学校給食の質の確保及び充実に対する支援について	
	1 学校給食の質の確保及び充実に対する支援について	

重点要望事項

【重点要望事項の内容】

1 原子力政策について

第7次エネルギー基本計画を契機に新たな原子力政策がスタートし、本町では安全確保に必須な「美浜・高島避難道路」の調査や立地地域の振興を強力に進める財源確保、全国初の次世代革新炉の建て替えに向けた可能性調査が進められている。

つきましては、関連施策を充実・強化し、持続的かつ円滑な原子力政策を推進するため、下記に示す取り組みのさらなる強化を国に要請願いたい。

(1) 国民理解の醸成について ※継続

【防災安全部 原子力安全対策課、エネルギー環境部 エネルギー課、教育庁 教育政策課、教職員課 義務教育課／エネルギー政策課】

新たな原子力政策を持続的かつ円滑に推進していくためには、世論の後押しが不可欠であり、国民理解の醸成が極めて重要と考える。

つきましては、国民理解の醸成に向けて立地地域が取り組んでいる下記の事項について、特段のご支援・ご配慮を願いたい。

① 「きいぱす」への支援について

第7次エネルギー基本計画では、エネルギーに関する関心を醸成し、国民理解を深めるには、学校教育の現場でエネルギーに関する基礎的な知識を学習する機会を設けることが重要であるとしている。

こうしたなか、本町のエネルギー環境教育体験館「きいぱす」では、次代を担う子どもたち（小中学生）が原子力やエネルギーについて、自分事として捉え、自ら考え、体験を通して理解を深める施設として、大きな役割を果たしてきた。

つきましては、「きいぱす」が、これまで果たしてきた役割と成果を踏まえ、持続的に運用するための財政支援や人的支援など、強力なご支援をお願いする。

② 「きいぱす」の機能強化（ビッグきいぱす）への支援について

「きいぱす」では、GX推進戦略を踏まえた教育プログラムの高度化や、新たなエネルギー先端技術等の紹介、展示など施設機能の更なる充実を図り、高校生や大学生、大人世代までがエネルギーの必要性や重要性について学べる体験施設として充実・強化を図るための「ビッグきいぱすプロジェクト」に取り組んでいる。 R8 実施設計、R9 整備工事、R10 リニューアルオープン（予定）

つきましては、「きいぱす」を、次代を支える人材育成の場として広く活用いただくとともに、財政支援や技術支援、人的支援など強力なご支援をお願いする。

③ 新たな試験研究炉との連携による「きいばす」の活用について

「もんじゅ」サイトにおいて、新たな原子力分野の研究開発や人材育成の中核的拠点を目指し、計画が進められている「試験研究炉等」と「きいばす」が有機的に連携することで、新技術等の学習・研究エリアの形成につながるようご支援をお願いします。

④ 若者世代による自発的な理解活動への支援について

福井県内の高校生が独自に取り組んでいる「高校生の原子力に関する意識調査」や理解活動は、年々活発化しており、県域を超えた高校へ波及するなど、若い世代が日本のエネルギーや原子力に関し、自ら考え、真剣に向き合おうとする意識が大きく広がりをみせている。

こうした若い世代の主体的な取り組みや行動を、機を逸することなく、情報の提供や専門的研修、現地視察など、積極的かつ全面的なご支援をお願いします。

(2) バックエンド対策の着実な推進について ※継続

【防災安全部 原子力安全対策課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課】

原子力政策を持続的かつ円滑に進めていくためには、バックエンド問題の解決を図ることが重要な課題の一つである。六ヶ所再処理工場の確実な竣工、中間貯蔵施設・最終処分場の早期確保など、具現化に向けた対策を強力に推進すること。

また、関西電力の「使用済燃料対策ロードマップ」について、着実に履行されるよう、国が前面に立ち、総力を挙げて取り組むことを国に要請願いたい。

(3) 廃止措置対策について ※継続

【防災安全部 原子力安全対策課／エネルギー政策課】

美浜1・2号機の廃止措置を安全かつ着実に進めていくためには、放射性廃棄物やクリアランスレベルの廃棄物、さらには使用済燃料の搬出および処分が確実に行われることが大前提となる。

クリアランス金属の活用など、原子力リサイクルビジネスの推進に県が主体となって取組まれていることは、たいへん意義深く感謝申し上げたい。

一方で、放射性廃棄物等の処理については、廃止措置を計画的に推進するため不可欠であることから、国が前面に立ち、総力を挙げて取り組むことを国に要請願いたい。

2 原子力防災対策の充実強化について ※継続

【エネルギー環境部 エネルギー課、土木部 道路建設課：道路保全課／土木建築課】

第7次エネルギー基本計画において、避難道路の多重化・強靱化を始め地域課題の解決については、必要な財源確保に向けた方策の検討・具体化等を含め、先進的な課題への取り組みなど立地地域の実情を踏まえ、進めていく旨、示された。

こうしたことを受け、共創会議において、将来像の工程表に美浜高島間の避難道路の整備が明記され、現在、道路概略設計が実施されている。

つきましては、本町の安全安心の確保にかかる最重要課題である下記2点について要請する。

(1) 美浜～高島間の道路の早期着工について

本町は、原子力発電所の集積エリアである嶺南地域において、唯一南北に通じる避難道路が整備されておらず、また、滋賀県境山間部には孤立の可能性があります、かつ、発電所の方角へ避難せざるを得ない地域（新庄地区）を抱えることから、嶺南の他地域に比べ道路避難の安全度が極めて脆弱であり、地域住民の大きな不安に繋がっている。

そのため、この現状や原子力発電所の立地地域が果たす社会貢献度等を十分配慮したうえで、かねてより切望している安全安心の最大限の確保に繋がる南北方向の避難道路（命の道）の早期着工を図ること。

(2) 避難道路・制圧道路の強靱化について

原子力災害時の避難や事故制圧に資する幹線道路は、狭窄部や脆弱な山腹法面を抱え、電柱が林立することから、まさかの時の機能不全が憂慮される状況となっている。

そのため、下記路線に係る強靱化対策をあらゆる方法を含め講じること。

ア. 県道松屋河原市線

○狭窄部など道路拡幅、線形改良

・新庄馬場集落内 N＝1箇所

・新庄馬場集落～松屋集落間 1車線→2車線化 L＝2.3km

○狭窄部、脆弱部の改良

・県道のルート変更

・橋梁整備（水力発電所付近） N＝1箇所

イ. 県道竹波立石縄間線

○無電柱化 水晶浜～丹生集落 L＝3.8km

○狭窄部改良 水晶浜北端～竹波集落 L＝0.2km

ウ. 県道久々子金山線

○無電柱化 金山交差点～梅街道 L＝0.8km

エ. 国道27号

○無電柱化 佐柿～金山交差点 L＝3.7km

3 地域振興について

(1) 新たな原子力政策に基づく「将来像」のステップアップについて

※継続

【エネルギー環境部 エネルギー課／まちづくり推進課、エネルギー政策課】

共創会議における「立地地域の将来像」は、嶺南地域が廃炉進展や地域経済の衰退が懸念される中、国の主導により地域の持続的な発展を目指し策定されたものである。

当時の原子力政策「第6次エネルギー基本計画」では、原子力への依存度低減を掲げており、次世代革新炉への建て替えや地域振興の視点が不十分であった。今後は「第7次エネルギー基本計画」に基づく、新たな原子力政策を見据えた計画として充実・強化を推進するよう国に要請願いたい。

(2) ワット・ビット連携を通じたデータセンターの誘致について ※継続

【エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課】

国は、都市部に集中するデータセンター等のリスク分散やワットビット連携を図るため、原子力発電所の立地地域等への分散立地を促す方針を示している。

こうした施設を誘致できれば、立地地域の振興に繋がることから、その実現に期待するところである。

しかしながら、その施設規模要件は30ha以上と地勢的制約のある立地地域の実態と乖離することから、実情に即した柔軟な要件設定や補助制度の充実・強化をお願いする。

(3) 再稼働を考慮した原子力立地給付金の拡充について ※継続

【エネルギー環境部 エネルギー課／総務課】

原子力立地給付金は、昭和56年に制度化されたものであり、施設稼働の有無にかかわらず立地住民に直接交付される仕組みとなっている。

再稼働の実現は、様々な課題を抱えながらも住民の多大な理解と協力なくして実現に至らず、社会経済活動への貢献度は極めて大きい。

よって、再稼働を果たした立地住民に対する給付加算措置など制度拡充を国に要請願いたい。

(4) 将来を見据えた新たな支援制度の創設について ※継続

【エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課】

エネルギーの安定供給と安全保障を確保するためには、次世代革新炉へのリプレースが重要な政策課題となっているが、受け皿となる立地地域の深い理解と協力が不可欠である。

しかし、現在の電源立地等初期対策交付金は、制度創設から２７年が経過し、現在の社会情勢や安全・防災対策、地域インフラの整備等の実態に対応できておらず、現状にそぐわない状況となっている。

そのため、次世代革新炉へのリプレースを見据え、立地地域の多様な課題を解決し、持続可能な地域振興の実現に資する支援策が必要である。

つきましては、地域が抱える個別課題の機動的な解消に資する、「電源立地等初期対策交付金・（仮）リプレース交付金」の充実・強化を国に要請願いたい。

【重点要望事項の内容】

本町では令和8年度より、「第2次美浜町観光振興計画」を始動し、「いつてみたいから、ずっといたいへ。」のスローガンのもと、行政・事業者・住民が一体となった「オールみはま」体制により、「観光はまちづくりのエンジン」であるとの思いをもって、「周遊滞在型観光」を柱に観光施策を強力に進めているところである。

北陸新幹線敦賀開業から3年目を迎え開業効果が続いていると考えますが、依然として認知度不足や観光消費低迷など、といった課題も露呈していることから、以下の項目について支援をお願いする。

1 三方五湖周遊観光の充実について ※継続

【嶺南振興局／観光誘客課】

(1) 周遊観光モビリティの導入について

観光スポットを効率的かつ魅力的に巡る二次交通の充実が、長年の課題となっている。電動キックボード等最新の電動モビリティを導入することで、単なる移動手段の確保に留まらず、観光客が美浜の心地よい風を肌で感じながら三方五湖周辺を巡るという、新たな周遊観光の創出につながるような仕組みづくりを支援願いたい。

(2) 三方五湖ビジターセンターの整備支援について

三方五湖観光の拠点の一つである美浜町レイクセンターは、令和6年度に策定した経営強化戦略により、持続可能且つ安定的に運営できる収益施設へ今後再構築することとしている。本施設に、三方五湖の自然・文化資源を軸に展示・体験・発信等、ビジターセンターとしての機能を付加し、地域資源の魅力を深く伝える今後の環境整備に向けた財政支援をお願いしたい。

2 観光おもてなしの環境整備・地域資源の保全について

【嶺南振興局／観光誘客課】

(1) 浦見川の魅力アップ整備について ※継続

三方五湖ネイチャークルーズの名所の一つである浦見川について、その歴史的背景をVR技術等によるストーリーを演出するなど、感動と発信を生むクルーズ体験の創出や、魅力アップのための景観整備にかかる支援をお願いしたい。

(2) 観光おもてなし「公衆トイレ」の大規模改修について ※新規

【エネルギー環境部 自然環境課／観光誘客課】

公衆トイレの清潔さは観光地のイメージに直結し、観光拠点としての価値を高めることになる。しかしながら、県で整備された公衆トイレの老朽化が著しく、利用者の苦情が多くなっている。そのため、国内外の観光客が心地よく利用できる、明るく清潔な公衆トイレへの大規模改修をお願いしたい。

県管理委託トイレ N＝9か所（うち30年超 4か所）

(3) 三方五湖の水質改善に向けた専門的調査の実施について ※新規

(若狭町共通)

【エネルギー環境部 自然環境課 環境政策課 土木部 河川課 嶺南振興局／住民環境課】

近年、三方五湖の水質悪化が顕著であり、水月湖では秋から冬にかけてアオシオの発生により白濁化や異臭が発生するなど、住民の健康面や生活環境や自然生態系への影響について懸念の声が多く寄せられている。

また、この地域は福井県の代表的な観光資源であることから、県主導により三方五湖の水質浄化や異臭問題に対する原因究明と抜本的な対策を迅速に講じていただくよう要望する。

3 「観光おもてなし道路」の整備について ※継続

【土木部 道路建設課 道路保全課 嶺南振興局 若狭湾サイクリングルート推進室／土木建築課】

本町は、自然景観に特化した観光地が多く、ドライブやサイクリングなど道路利用者から眺望に対する期待は大きい。

そこで観光地を結ぶ道路を「観光道路」として位置づけ、県と町、地元住民が互いに協力し合い、美しい道路景観を維持保全する必要がある。

特に、美浜駅からレインボーラインを結ぶ県道日向・郷市線の一部区間については、長年にわたり地元住民による花壇の整備など美化活動が行われ、ドライバーやサイクリストなど道路利用者から高く評価されている。

よって、その区間を「観光おもてなし道路」(L＝1.6km)として、より魅力的な観光おもてなし道路となるよう次の措置を講じていただきたい。

(1) 道路の定期的な除草及び清掃について

(2) 若狭湾サイクリングルートとしての走行環境整備について

【重点要望事項の内容】

本町では、公共交通機関の利用者は減少傾向にあるが高齢化が進む中、運転免許返納者が増加しており、身近な生活の足の確保が大きな課題となっている。

本町の生活圏である敦賀市を結ぶ広域路線バスは地域の足として生活を支えてきたが、令和7年度から2路線の内1路線が廃線となり、その廃線に伴う代替交通として町単独で公共ライドシェアを導入した。

また、観光の2次交通を充実させるため、新たな観光路線を検討しており以下のとおり支援をお願いする。

1 広域路線バスに係る国、県の支援について ※継続

【未来創造部 交通まちづくり課、交流文化部 観光政策課、嶺南振興局／住民環境課、観光誘客課】

広域路線バスは補助金や運賃によって運営されていますが、赤字補填を関係市町が担っており、その補填額は年々増加している。都市部と地方との地域格差が拡大する中で、地方の疲弊が進み、生活基盤である地域公共交通の維持・運用がますます困難な状況に陥る危険性があるため、下記の事項をお願いする。

(1) 国への運行支援に対する要請について

国に対し、持続可能な路線バスの運行を実現するため地域の運行実態に即した国庫補助制度の改正や財政支援の拡充・強化を求めているようお願いする。

(2) 県補助の拡充について

県の補助事業においても、財政支援のさらなる拡充や補助事業の期間延長などを将来にわたって、公共交通の維持・確保ができる継続的な支援をお願いする。

(3) 観光路線の運行に対する助言等について

観光振興の一環として、レインボーラインへの新たな観光路線の運行体制を検討しており、これに伴う指導助言や財政支援についてお願いする。

2 ゴイチバスの運行に係る県の支援について ※拡充

【未来創造部 交通まちづくり課、交流文化部 観光政策課、嶺南振興局／観光誘客課】

観光の2次交通となるゴイチバスについては、令和8年度で補助が終了となっているが、近年利用者も増加している状況であることから、令和9年度以降も引き続き運行への財政支援をお願いする。

3 小浜線のキャッシュレス化について ※継続

【未来創造部 地域鉄道課／まちづくり推進課】

敦賀駅を拠点とする鉄道やバス路線は、ＪＲ小浜線を除き全てＩＣＯＣＡが導入され、キャッシュレスでの乗車が可能となっている。北陸新幹線敦賀開業に伴い、首都圏から敦賀へのアクセスが向上し、嶺南エリアへの入込客も増加しているが、キャッシュレス非対応であることから小浜線乗継ぎの大きな支障となっており、評判も極めて悪い。

また、ＪＲ西日本により２０３０年の小浜線の無人駅化が計画されていることから、利便性が著しく低下することが懸念されることから、次の支援をお願いする。

(1) 小浜線ＩＣＯＣＡ導入要請について

北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限に生かすとともに、小浜線利用者の利便性向上のため、ＩＣＯＣＡ等のキャッシュレス決済システムの小浜線導入についてＪＲ西日本に強力に働きかけていただくようお願いする。

(2) 小浜線利用促進に係る支援について

ＪＲ小浜線の維持・活性化を図るため、県としても、「乗る運動の展開」など利用促進策を推進するとともに、本町が取り組む利用促進策に対しては、必要な財政支援を含め最大限協力することをお願いする。

【重点要望事項の内容】

1 嶺南医療圏としての機能充実について

(1) 高度急性期の医療の充実について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課】

嶺南医療圏は脳卒中等の重篤な救急疾患に対する医療機能が不十分で、患者の多くが嶺北医療圏へ搬送されている。そのため、高度急性期医療の圏内完結率が低く、搬送時間の延伸や地理的リスクが生じている。ついては、住民が安心して必要な医療を受けられる体制の確保についてお願いしたい。

① 医療機能の高度化に向けた支援について

嶺南医療圏における高度急性期医療の強化に向け、医療機関の役割分担を踏まえた機能集約及び連携強化を推進すること。

② 大学病院等との連携による若手医師のキャリア形成支援について

大学病院等との連携を強化し、若手医師が高度で専門的な医療を実践・習得できる魅力あるキャリア形成環境を嶺南医療圏内に構築すること。

③ 医師の長期定着に向けた包括的な支援について

医師の定着を図るため、宿舍整備や配偶者キャリア支援など、勤務・生活環境を含めた支援策を充実すること。

(2) 安心して子育てできるための医療体制の整備について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /こども未来課】

疾病や障がい等を理由に、医療圏を越えて専門医への受診が必要となる乳幼児が一定数存在しており、安心して子育てできる環境づくりは喫緊の課題となっている。そのため、第8次福井県医療計画に示されている、公的病院等の役割分担や連携、産科・小児科の体制について検討を進めていただき、嶺南地域における効率的かつ充実した医療提供体制の構築を早期に図っていただきたい。

2 レイクヒルズ美方病院への支援について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課】

레이크ヒルズ美方病院は療養病床を有し、急性期病院と在宅療養の中間的役割を担う重要な病院である。

地域の中核的な病院として幅広い役割を担っており、地域医療の体制維持に係る病院機能の維持継続のため、高度医療機器（MRI 機器、骨密度測定装置）の更新に必要な財政支援をお願いする。

3 地域医療の充実強化について

(1) へき地診療所の医療従事者確保について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課】

へき地診療所(丹生診療所)への医師の継続的な派遣協力をお願いする。

(2) へき地におけるオンライン診療の継続支援について ※継続

【健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課】

医療資源が潤沢といえない地域では、オンライン診療を活用すべきとの方向性を国が示していることから、住民への継続的医療確保や専門的医療の提供、災害時の医療手段の確保に向け、今後も市町としっかり連携しながら主体的に取り組みを進めていただきたい。

【重点要望事項の内容】

1 ローイング競技拠点化に向けた施設整備について ※継続

(交流文化部 スポーツ課、教育庁 保健体育課／教育総務課)

半世紀に及ぶ県と町との強力なタッグによる環境整備・普及拡大・競技力向上等の取り組みによって、「ローイング王国福井」「ローイングの町美浜」は、全国から広く注目される競技拠点へと成長を遂げてきた。

次なるフェーズとして「福井県美浜町」を国際基準の競技環境を備えた国内最高峰となるローイング競技拠点とし、「全日本級」さらには「国際級」大会の誘致を図り、交流・関係人口の拡大に向けて取り組んでいくため、引き続きご支援をお願いする。

① 国際大会（A級 2,000m コース）を目指した備品等の整備

② スタートポンツーンの整備など設備環境の強化対策

スタートポンツーン、ステアリングマーカ、審判艇、水路艇、船舶上架施設等

③ 大会運営経費に対する支援

④ レガシー記念館及び合宿施設の整備

合宿・大会誘致の促進と関係人口を拡大させていくため、本県のローイング競技におけるレガシーを全国へ情報発信していく記念館及び全国からの合宿誘致に向けて、合宿施設の整備が必要

全日本社会人、U19 S B S（241クルー、約494名が来町）令和9年4月

アジアジュニア（19カ国、144クルー、約500名が来町）令和11年度以降

※2024年9月11日～14日@中国瀋陽（主催アジアボート連盟（ARF））実績



スタートポンツーン

【重点要望事項の内容】

1 史実を活かしたまちづくりと地域の伝統文化継承への支援について ※継続

【交流文化部 文化・スポーツ局文化課、嶺南振興局／生涯学習推進課】

地域には、それぞれに長い歴史の中で培われた、芸能・神事等を起源とした伝統文化が継承・定着してきた。

近年、北前船日本遺産に認定を受けるなど、史実の掘り起こしによる新たな魅力を発信する一方で、地域の歴史的景観や昔ながらの風情を維持するための費用負担が重くのしかかっている。また、人口減少、少子高齢化の影響による伝統文化の担い手・後継者不足と、掘り起こした史実が失われる懸念がある地域の歴史遺産や伝統文化の保存・継承は喫緊の課題であり、地域における歴史遺産や文化の保全と継承、地域振興の核として活用を図るための幅広く強力な支援をお願いする。

(1) 北前船日本遺産を活用した「史実を活かしたまちづくり」への支援について

日本遺産構成文化財 17 件のうち 8 件を有する早瀬地区は、当時の船主らが神社に寄進した子供歌舞伎の山車や山車蔵、当時の面影を残す重厚な神輿、昔ながらの町並み景観等があるが著しく老朽化が進んでいる。これらの地域の取り組みや構成文化財の保存に対して持続的及び柔軟な財政的支援をお願いする。

(2) 地域の伝統文化の保全と継承について

県指定無形民俗文化財である王の舞（弥美神社例大祭）や精霊船（菅浜区）をはじめ、地域の伝統的な祭礼や文化・芸能の保全と継承のため、担い手不足、後継者育成、修繕・交換費用等の様々な課題の解消に資する幅広い用途による柔軟かつ持続的な支援をお願いする。

(3) 歴史的資源を活かしたヒストリーゾーンの整備について

旧丹後街道沿線のヒストリーゾーン整備に向けて、町国吉城址や旧丹後街道の宿場町として繁栄した佐柿城下の歴史的景観の保全と活用、国登録有形文化財「旧田辺半太夫家住宅」に関連する門塀の移設、国史跡「興道寺廃寺跡」の史跡整備、旧丹後街道のカラー舗装等歴史的景観の保全や歴史的資源を活かした整備に向けた支援をお願いする。

(4) 歴史遺産を活用した情報発信について

歴史遺産を観光の新たな魅力として P R するための情報発信や、各市町が実施する周知の取り組みへの支援をお願いする。

【重点要望事項の内容】

1 みはまシナプスプロジェクトへの支援について ※新規

【総務部 市町協働課・未来創造部 定住促進課／まちづくり推進課】

美浜町では、急激な人口減少や少子高齢化という深刻な課題を乗り越えるため、「みはまシナプスプロジェクト」を推進している。脳のシナプスがつながって活性化するように、人と人が繋がり、挑戦が生まれる姿こそが私たちが目指す”美浜町らしいにぎわい”であり、人口減少の壁を乗り越える力になると確信し、学びと挑戦を育む「人づくり」「優しい回遊空間を創る 空間づくり」「共創の軸線を貫く CONT.づくり」に重点的に取り組むことにより、町の＜にぎわい＞創出を目指している。

本町では、これまで本プロジェクトの核となる「人づくり」を先行して進めてきたが、これまでの取組の成果をまちの活力に繋げるにあたり、「CONT.づくり」「空間づくり」を内包した新たなフェーズへと進化させる段階となった。

については、町の「共創の未来」を切り拓く本プロジェクトの確実な実行と成果創出のため、次の支援をお願いする。

(1) 空間づくりに対する財政的支援について

＜学び＞や＜なりわい＞づくりのトライアルの場となる「(仮) みはまトライアルフィールド」等の拠点整備を進めるための財政支援

R 8 実施設計、R 9 整備工事、R 10 オープン（予定）

(2) 企業等とのマッチング及び広報支援について

みはまトライアルフィールドを舞台に企業研修（ワーケーション等）や地域課題解決を通じた新規事業創出の場として美浜町を活用いただくため、関係機関を通じた企業への周知・連携の支援

【重点要望事項の内容】

1 集落活性化に係る財政支援について ※新規

(総務部 市町協働課／まちづくり推進課)

人口減少、少子化・高齢化、空き家の増加など、集落を取り巻く環境は厳しさを増しており、集落活動の維持が困難になってきている。町や地域の活性化について、集落が果たす役割が重要であり、集落の特性に応じた柔軟な支援が必要である。美浜町では、持続可能な集落づくりを目指して「集落元気プランの策定」による地域コミュニティの形成や伝統文化の継承を進める集落づくりに注力してきたところである。

昨年度、この事業を拡充した「集落元気ステップアップ支援事業」を創設し、更なる集落の支援に努めている。

集落の元気は町の元気、県の元気にもつながることから、集落づくりにかかる県の強力な支援をお願いする。

【重点要望事項の内容】

1 海岸漂着ごみ対策の支援について ※新規

【エネルギー環境部 循環社会推進課／住民環境課】

毎年、本町の海岸に大量のごみが漂着し、その対応に大変苦慮している。

町では、多くの町民等によるボランティア活動や「美しい浜プロジェクト」などの委託事業等を通じて漂着ごみを回収、美しい浜の維持保全に努めている。

しかしながら、近年の物価高や処分量の増加等に伴い、回収作業等にかかる経費が増加している。特に、県管理海岸については県との委託契約によって町が事業を実施しているが、その委託費では十分な対応ができず、対応に苦慮していることから、以下の点についてご支援をお願いします。

重要要望事項

豪雨・土砂災害対策について

重要 1

【重要要望事項の内容】

1 豪雨・土砂災害対策について ※継続

【土木部 砂防防災課・河川課／土木建築課】

近年、多発する集中豪雨により全国で河川氾濫や土砂災害が発生している。被害を最小限に抑えるため、対策の実施、継続的な予算の確保についてお願いする。

（１）急傾斜地崩壊対策について

- ① 日向（橋坂山）地区
- ② 菅浜（塩ヶ崎谷）地区

（２）土石流対策について

- ① 丹生（阿弥陀川）地区

（３）法面对策について

- ① 町道北田菅浜線（弁天崎付近）

（４）河川浚渫及び護岸改修について

- ① 耳川における堆積土砂の浚渫、雑木の伐採
- ② 耳川、太田川等における護岸の改修
- ③ 栗柄谷砂防堰堤（栗柄谷川）の堆積土砂の浚渫

道路の整備について

重要 2

【重要要望事項の内容】

1 道路の整備について ※継続

【土木部 道路建設課・高規格道路課／土木建築課】

地域住民の生活空間における安全安心を確保するため、次の道路整備の早期完成をお願いする。

（１）県道日向郷市線道路改良事業の早期完成（早瀬・笹田地係、河原市地係）について

- ①早瀬・笹田地係
- ②河原市地係

（２）県道松屋河原市線の歩道整備の早期完成（河原市地係）について

（３）舞鶴若狭自動車道の４車線化（若狭三方ＩＣ～敦賀間）について

越波対策について

重要 3

【重要要望事項の内容】

1 越波対策について ※新規

【土木部 道路保全課／土木建築課】

越波による被害を防ぐための対策について、早期完成をお願いする。

農業農村整備事業について

重要 4

【重要要望事項の内容】

1 農業農村整備事業について ※継続

【農林水産部 農村振興課 農地保全整備課／土木建築課】

農業経営の安定と営農効率の向上、地域住民の安全安心の確保及び防災力の向上を図るため、県営による用排水路・農道等、農業基盤の整備事業に対し、継続的な県の予算枠の確保をお願いする。

(1) 中山間地域総合整備事業（一般型）美浜第2地区について

(2) ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）山上堤、佐田1号堤地区について

(3) 農道保全対策事業若狭梅街道について

(4) 経営体育成基盤整備事業（ほ場）美浜新庄地区について

地域農業の振興に係る支援について

重要 5

【重要要望事項の内容】

1 地域農業の振興に係る支援について ※継続

【農林水産部 中山間農業・畜産課・農村振興課／産業政策課】

美浜町では、中山間地域を中心に農業者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加等、今後の農業振興に向けて多くの課題に直面している。

今後も農地を維持し、農業者が安心して農業を継続していける施策について、支援をお願いしたい。

建設発生土の活用について

重要 6

【重要要望事項の内容】

1 北陸新幹線建設事業や舞鶴若狭自動車道 4 車線化事業に係る 建設発生土の活用について ※継続

【農林水産部 農村振興課・未来創造部 新幹線建設推進課・土木部 高規格道路課／産業政策課、土木建築課】

大量の建設残土は、工事区域に近接する農地における大区画圃場整備の嵩上げ用土や住宅団地造成などの公共事業に活用することが経済的、合理的であると考えている。

本町においても、北陸新幹線及び舞鶴若狭自動車道の両建設事業の推進に最大限の協力をしたいと考えており、発生残土量や搬入見込み時期など、常に早い段階での情報共有を図っていただきたい。

畜産振興に向けた総合的な支援について

重要 7

【重要要望事項の内容】

1 嶺南広域の畜産振興に向けた総合的な支援について ※継続（若狭町共通）

【農林水産部 中山間農業・畜産課／産業政策課】

堆肥化施設の運営方針の検討など、今後嶺南エリアにおいて計画的に畜産振興が図られるよう支援をお願いしたい。

第二ふくい園芸カレッジ（仮称）の整備に伴う交流の創出について

重要 8

【重要要望事項の内容】

1 第二ふくい園芸カレッジ（仮称）の整備に伴う交流の創出について

※継続

【農林水産部 園芸振興課／産業政策課、観光誘客課】

令和 6 年 3 月に策定された福井県農業基本計画『次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計画』において、農業人材を育成し、嶺南地域を園芸振興で活性化することを目的として整備が予定されている『第二ふくい園芸カレッジ（仮称）』について、本町の『農業人材育成拠点施設』と密接に連携できるよう、計画段階から町との調整にご配慮願いたい。

また、第二ふくい園芸カレッジ（仮称）整備において、「園芸研究センター」、「園芸 LABO の丘」、美浜町健康楽膳拠点施設「こるぱ」の一体的な管理運営を実施することにより、敷地全体のブランディングや一体的なエリアマネジメントがなされ、さらなる誘客が見込まれるとともに、利用者の利便性向上や運営コストの相互削減にも繋がることから、一体的に管理及び活用した園芸と食の体験コンテンツの提供ができるようご検討いただきたい。

広域連携による持続的な観光プロモーションの強化について

重要 9

【重要要望事項の内容】

1 広域連携による観光プロモーションの強化について ※継続

これまで実施されてきた「青々吉日 TSURUGA WAKASA」周遊キャンペーン等は、新幹線敦賀開業に合わせ、敦賀から若狭地域全体への人の流れを生み出し、地域に大きな活気をもたらしてきた。

今後は、これらの成果と課題について観光データを元に詳細に分析し、観光客の滞在時間を延ばすことで、宿泊や食による経済効果が、より深く、持続的に嶺南地域全体へ波及し続ける具体的な仕組みを構築することが強く求められている。

若狭地域、そして本町が国内外の観光客から選ばれる魅力的な目的地となるよう、県の主導のもと、関係部局が一体となった強力な広域観光施策の推進をお願いする。

【交流文化部 誘客推進課、インバウンド交流課、観光政策課、嶺南振興局／観光誘客課】

（１）観光誘客活動の強化について

若狭地域が観光の目的地となるように、県が主体となり、近隣府県を含め関係機関と一体となった広域的・効果的なインバウンドも見据えた観光プロモーションやサイクルツーリズムの推進をお願いする。

【嶺南振興局／観光誘客課】

（２）持続的な地域波及体制の構築について

「青々吉日 TSURUGA WAKASA」周遊キャンペーンの成果を検証し、持続的に宿泊や食による経済効果が地域に波及し続けるような仕組みの構築をお願いする。

学校給食の質の確保及び充実に対する支援について 重要 10

【重要要望事項の内容】

1 学校給食の質の確保及び充実に対する支援について ※新規

【教育庁 保健体育課／教育総務課】

国による小学校給食費の無償化を受け、本町では令和8年4月から小学校給食費の無償化を実施している。

一方で、物価高騰の影響に加え、地場産食材やデザートを取り入れた「美し美浜プレミアム学校給食」など、特色ある学校給食の充実を図っていることから、給食に要する経費が増加している。

学校給食は、食育の推進や健やかな成長を支えるとともに、子どもたちにとって学校生活の大きな楽しみの一つであり、「子どもが行きたくなる学校づくり」を進める上でも重要な役割を担っている。

学校給食の質の確保及び充実を図るため、市町の創意工夫による取組に、柔軟に活用できる県の財政支援をお願いしたい。

また、中学校給食費についても財政支援をお願いしたい。